

「能登・祭りの環」関係人口創出事業  
令和3年度意見交換フォーラム（オンライン）の開催について

1 開催目的

本事業の参加学生、奥能登の地域住民・自治体職員、大学教職員、過去の参加者等が集まり、祭りや奥能登地域について意見交換等を行い交流する場を設けることで、学生の祭りへの理解を深めるとともに、ネットワーク形成の促進等を行って奥能登の関係人口創出を図り、奥能登の祭りの継続に寄与する。

2 開催日時

令和4年1月30日（日）13:30～15:30 ※オンライン開催

3 参加者（約40名）

- ・R3「能登・祭りの環」長期インターンシップ生
- ・奥能登の祭り開催地域の住民
- ・「能登・祭りの環」関係人口創出事業実行委員会 委員
- ・過去の「能登・祭りの環」参加学生
- ・能登キャンパス推進協議会 幹事
- ・一般の方

4 次第

※別紙のとおり

5 主催

「能登・祭りの環」関係人口創出事業実行委員会

※ 取材を希望される場合は、1月28日(金)17:00までに、石川県企画課に、電話(076-225-1318)またはメール(kikakuka@pref.ishikawa.lg.jp)でご連絡ください。

※ フォーラム当日のお問合せは、15:30～16:00に上記連絡先までお願いいたします。

※「能登・祭りの環」関係人口創出事業とは

高等教育機関が存在しない能登をひとつのキャンパスと見立て、学生の交流や地域貢献活動などにより能登の活力向上を図る「能登キャンパス推進協議会」の事業の一つ。

例年、学生が能登の祭りの担ぎ手として参加するほか、継続的に祭りを支える仕組み作りの検討を行うことにより、能登の伝統文化に触れる機会を創出している。

今年度は新型コロナウイルスの影響により、祭りの開催が見送られることになったため、学生は祭りへの参加の代わりに、能登地域で祭り関連体験や地元の方との意見交換を行った。

能登キャンパス推進協議会構成機関：

(自治体) 石川県、輪島市、珠洲市、穴水町、能登町

(大学) 金沢大学、石川県立大学、石川県立看護大学、金沢星稷大学

「能登・祭りの環」関係人口創出事業  
令和3年度意見交換フォーラム（オンライン） 次第

1 開会挨拶・事業説明（5分）

「能登・祭りの環」関係人口創出事業実行委員会 池田 幸應 実行委員長

2 能登キャンパス推進協議会 幹事長挨拶（2分）

能登キャンパス推進協議会 村角 美登 幹事長

3 R3 本事業参加学生による発表（活動報告）（30分）

※R3 本事業参加学生：13名（金沢星稜大学、北陸大学、北陸学院大学）

・長期インターンシップ（R3.5月～R4.1月）の活動報告

（座学講義、祭り関連施設見学、祭り開催地域での現地活動について）

※現地活動では、学生が奥能登2市2町を訪れ、祭り体験活動（太鼓体験、横  
笛作成体験等）や地域の方との意見交換を実施

・奥能登の祭りに対する学生の想い

4 過去の本事業参加学生2名による発表（10分）

※石川県立大学卒業生1名、放送大学卒業生1名

・能登の祭りに参加した際の体験談

・本事業へ参加したことが現在の自分に活かされていると感じること

— 休憩（5分）—

5 参加者による意見交換（60分）

テーマ「祭りの継続に向けた奥能登の関係人口創出策について」

(1) グループごとの意見交換（45分）

・祭り開催地域の住民による発表「地域の祭りの特徴と課題について」

・テーマに沿ってグループごとに意見交換

(2) グループ代表者によるグループ内で出た意見の発表（15分）

進行：池田 実行委員長

6 能登キャンパス推進協議会幹事による講評（8分）

・金沢大学 篠田 隆行 教授

・石川県立大学 榎本 俊樹 教授